

# つながりを意識した年間計画と授業実践

静岡県立吉田特別支援学校 清水 泰裕

# 学校紹介





# 静岡県立吉田特別支援学校



☆大きな校舎

☆広いグラウンド

☆開校9年目

☆富士山が見える

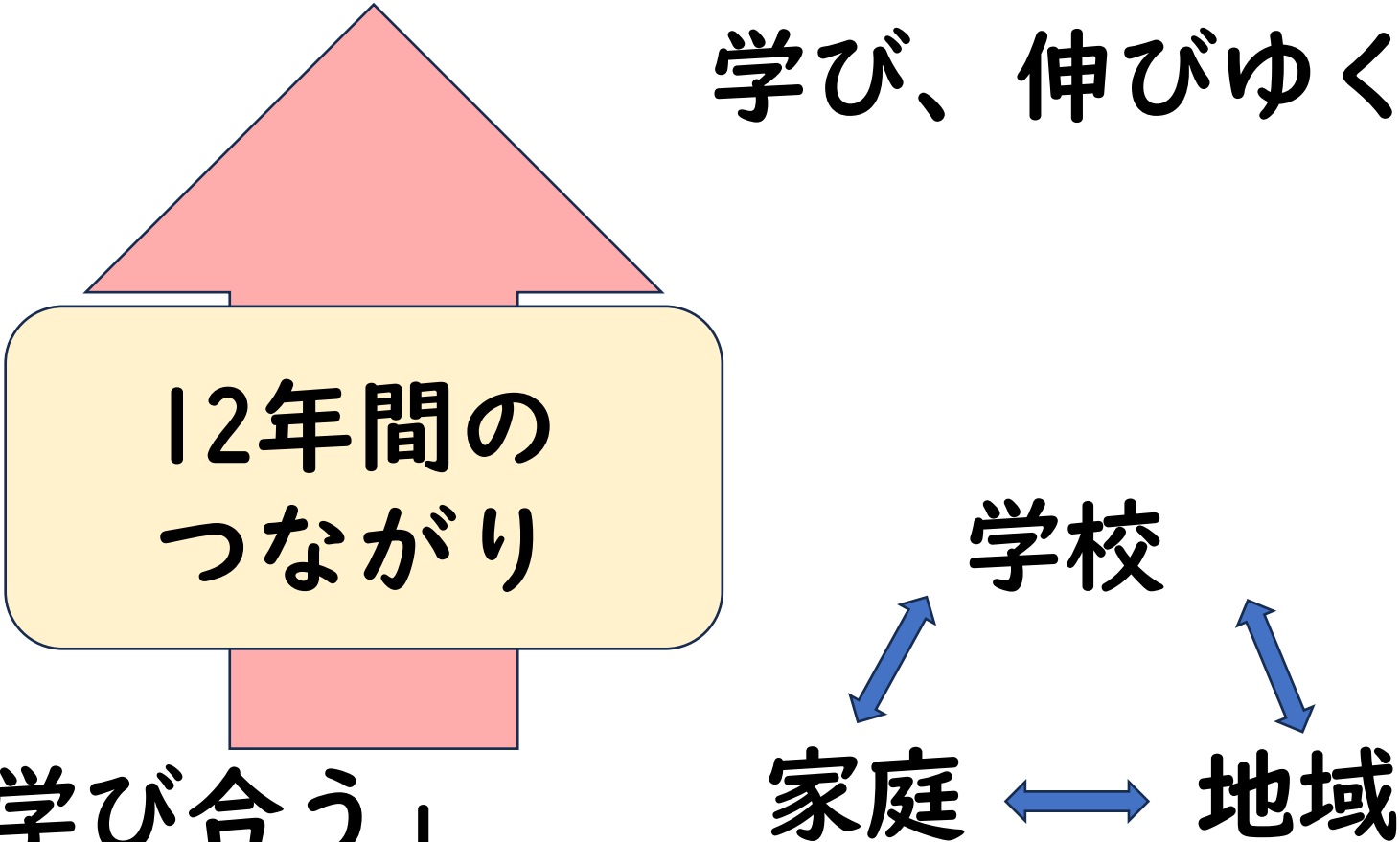


# 学校教育目標

「夢に向かって

『いきいき・なかよく・すこやかに』

学び、伸びゆく人」



12年間の  
つながり

教育理念

「つながり合い、学び合う」

学校

家庭

地域

## 「各学部・各学年で目指す姿」

### 「高等部」「地域の中で、自分らしく全力で力を発揮できる生徒」

高3・・・身につけた力を学校生活や地域活動で発揮するとともに、自ら周りを見て仕事や行動ができる生徒

高2・・・将来の夢や働く目的を持ち、自分の目標や役割に自ら挑戦し、やり遂げることができる生徒

高1・・・働く基盤となる健康や体力、生活習慣、人間関係づくりのために進んで活動できる生徒

### 「中学部」「自ら動き 仲間とともに 自信をもって 生活できる生徒」

中3・・・経験を生かし、学校や学部のために役に立とうと行動できる生徒

中2・・・自ら気付き、仲間と協力し合ってやり遂げることができる生徒

中1・・・まわり人のために、自分から進んで活動できる生徒

### 「小学部」「元気に なかよく すすんで活動できる児童」

小6・・・小学部のために仲間と協力できる児童

小5・・・おなじ目標に向かい、自分の役割を最後まで行うことができる児童

小4・・・みんなと力を合わせて活動できる児童

小3・・・やることが分かりみんなと一緒に活動できる児童

小2・・・自分から何度もチャレンジできる児童

小1・・・おもいきり活動できる児童

本校ホームページ  
グランドデザインより抜粋

# 本校中学部について①

## 目指す姿

「自ら動き 仲間とともに 自信をもって 生活できる生徒」

中 3 経験を生かし学校や学部のために役立とうとする

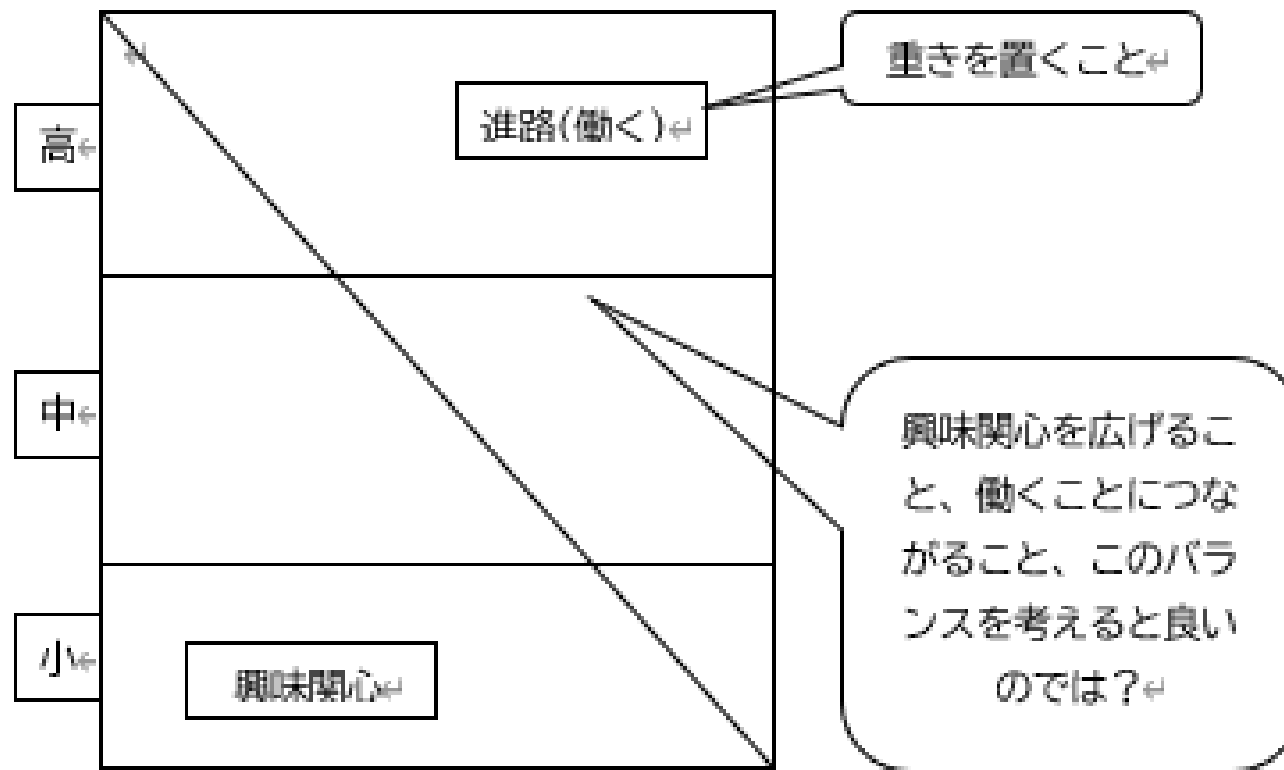
中 2 自ら気づき仲間と協力し合ってやり遂げる

中 1 まわりの人のために自分から進んで活動できる

## 本校中学部について②

小学部時代の積み重ねの**継続** と 高等部への**引継ぎ**

↳ **興味関心**の幅を更に広げつつ**社会自立**を目指す



# 知的中学部 1年生について（男子13名 女子1名）

- 元気いっぱい  
（時に教室を飛び出してしまいう生徒が複数名）
- やるべきことや役割が明確だと自発的に動ける
- 同学年の友達より身近な大人との関わりを好む



# 知的中学部 1年生の授業実践について

中1 まわりの人のために自分から進んで活動できる

## R 6の主な単元

- ・うなぎ博士になろう！（地域） ← 6月
  - ・ひまわりの家の人たちに行こう！（地域）
  - ・中学部応援隊になろう！（校内） ← 10月上旬
  - ・しらす博士になろう！（地域） ← 10月下旬
- 7月、9月

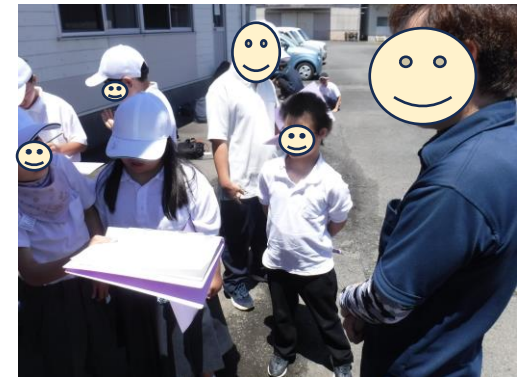
# うなぎ博士になろう！



なんで有名？



- ・インタビュー調査
- ・現地調査



誰かに言いたい！



# ひまわりの家の人たちに出会に行こう！



おばあちゃんたち元気かな？



- ・体験活動
- ・制作活動



子どもたちの思考

僕たちと違うんだ  
大変そうだなあ



優しくしなきゃ！  
助けてあげたい！



会えた！優しくできた！



# 中学部応援隊になろう！



初めての行事が多くて不安



- ・自分自身のお守り作り
- ・インタビュー＋制作

3年：修学旅行  
2年：宿泊学習

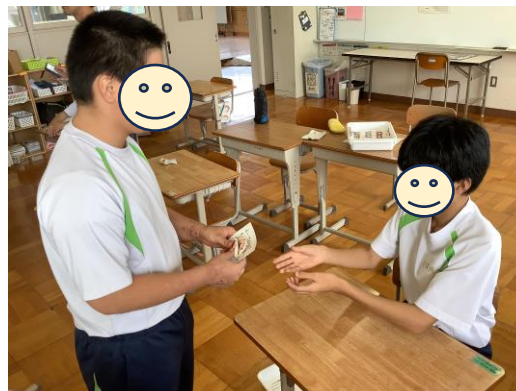
↑他学年を巻き込む  
Tの仕掛け

子どもたちの思考

先輩たちもドキドキ  
僕たちと同じだ！



先輩たちにも作ってあげよう  
好きな色が分からないから聞こう



渡せた！  
応援できた



# しらす博士になろう！



しらすの勉強はしないの？



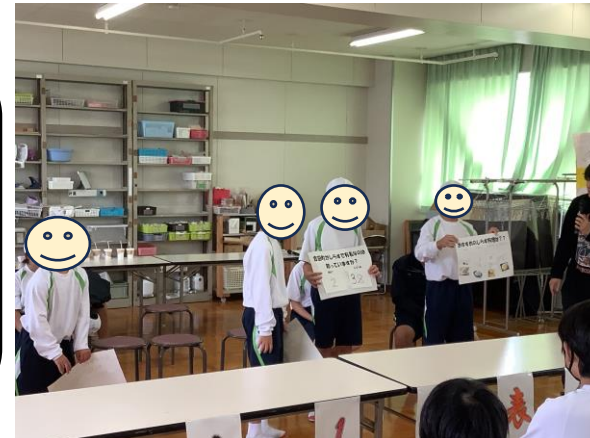
子どもたちの思考

誰かに聞きにいこうよ！  
見に行ったらいいんじゃない？  
↓  
学校でみんなに広めなきゃ！！

- ・インタビュー調査
- ・現地調査



中学部のみんなに  
発表できたぞ！



広報活動の依頼  
受ける

↑ 地域資源を活用した  
Tの仕掛け



- うなぎ博士になろう！（地域）

↳ 成就したいことを達成するための手段獲得

- ひまわりの家の人たちに行こう！（地域）

↳ 学校外、異年齢の方々との関わり



- 中学部応援隊になろう！（校内）

↳ 誰かのために何かをすることの良さを実感

- しらす博士になろう！（地域）

↳ 経験を生かした主体性

## 4月から今日までの実践を通して

◎子どもたちの学び や 思考のつながり、経験を  
より自然な流れでぶつ切りにしないような意識

- ・ Tの仕掛け
- ・ 単元のつながり（前だけでなく後ろも）

# 4月から今日までの実践を通して

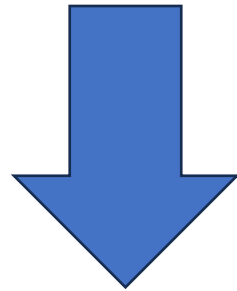
## 生徒の成長を感じる場面



- ・言われてから動いていた子が  
自分から「ちょっと聞いてくるよ。」
- ・対教師との会話がほとんどだった子が、  
「〇〇くんと話すと楽しいんだよ。」

## 4月から今日までの実践を通して

教師が子どもたちの成長を願って、  
子どもたちの、その時々の中のゴールの姿を想定する。



本人が得たであろう手応え、満足感、成就感を  
教師が見逃さないようにしていきたい。